



## 岸田首相 所信表明 総裁任期中の憲法改正を明言

岸田文雄首相は10月23日、第212回臨時国会の開会にあたり、衆・参両院本会議で所信表明演説を行い、「あるべき国の形を示す国家の基本法たる憲法の改正もまた、先送りのできない重要な課題」とし、「衆・参両院の憲法審査会において、活発なご議論をいただいた」と歓迎し、憲法改正に積極的な姿勢を示しました。



25、26日の衆・参議院本会議での代表質問で、日本維新の会、国民民主党は、自民党総裁の任期中の憲法改正を迫り、岸田首相は「任期中に憲法改正を実現したいという思いに、いささかの変わりもない」「憲法改正の課題に責任を持って取り組む決意だ」と応じました。

衆院憲法審査会では、昨年来35回の実質討議を行い、うち緊急事態条項の討議は28回。自民、公明、維新、国民、有志の5会派は、「緊急事態における議員任期延長は必要」と結論づける一方、立憲野党は「国会議員の固定化や恣意的な延命などの弊害を指摘。参院の緊急集会で対応、改憲不要」との見解を提示しています。

9条の改憲及び「お試し改憲」の問題点を指摘し、改憲を阻止していかなければなりません。

### 旧統一教会に解散命令請求

盛山正仁文部科学相は10月13日、高額献金被害の訴えが相次ぐ世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の解散命令請求を東京地裁に申し立てました。解散命令請求をきっかけに、被害者救済のための教団の財産保全の法整備や教団と自民党議員との関係を注視していきましょう。

平和川柳[武力で平和は守れない]  
 ガザの子の 泣く声届かぬ 国連よ  
 沖縄に 命[ヌチ]どう宝と 鐘が鳴る  
 支持されず 増税メガネ 拭いている  
 お留守番は 虐待ですか 県議さん

## 1票の格差 最高裁判決 「是正は喫緊の課題」でも「合憲」



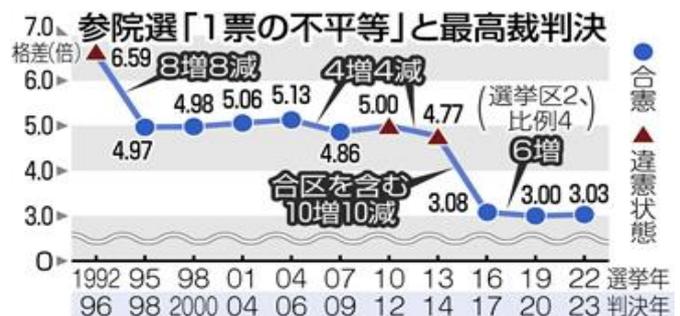
最高裁大法廷判決を前に、最高裁に向かう弁護士グループ

「1票の格差」が最大3.03倍だった「2022年7月の参院選は違憲かどうか」が争われた訴訟の上告審判決で、最高裁大法廷（裁判長・戸倉三郎長官）は10月18日、「合憲」とする統一判断を示しました。

大法廷は、「投票価値が著しい不平等状態だったとは言えない」と判断しましたが、立法府の格差の是正措置の遅れも同時に指摘しました。

裁判官15人のうち12人が「合憲」。個別意見では、三浦守、尾島明の2名の裁判官が「違憲状態」。宇賀克也裁判官は「選挙は違憲で無効。違憲状態を是正するために2年後に無効とすべきだ」との反対意見を述べています。

訴訟に携わる三竿径彦弁護士は「(国会に)合区や『3倍』を維持すればよい、とお墨付きを与えたようにも見える」。是正への取組は「ますます停滞するのではないか」と懸念を示しました。



### 東戸塚9条の会の勉強会

日時 11月11日(土) 13時~15時

会場 東戸塚地区センター 中会議室

9の日宣伝は、11月9日(木)17時~18時

# 破滅的人道危機 パレスチナ・ガザ地区戦闘

# 無法な攻撃の応酬を止め人道的停戦を！

イスラエルとパレスチナ自治区ガザ地区を実効支配するイスラム組織「ハマス」による攻撃の応酬は、破滅的人道危機とも言えるほど重大な事態が進行しています。

## ハマスの無差別攻撃は明白な国際法違反

10月7日、ハマスはイスラエルにロケット弾を打ち込み、同国国内から民間人を人質に拉致する奇襲攻撃をしました。戦時に文民への武力攻撃や人質を禁止した国際人道法に明白に違反する蛮行であり、最悪の残虐なテロ行為です。無法な攻撃の応酬を止め人道的停戦を！

## イスラエルの報復攻撃も人道法違反

これに対し、イスラエル軍はガザ地区への住宅や医療機関を含める無差別空爆を繰り返し、地区封鎖をして食料、薬品などの供給を停止しました。

いくら攻撃に対する対応とは言え、この完全封鎖と大規模爆撃は住民全体に対する報復攻撃であり、国際人道法に反する許しがたい行為です。

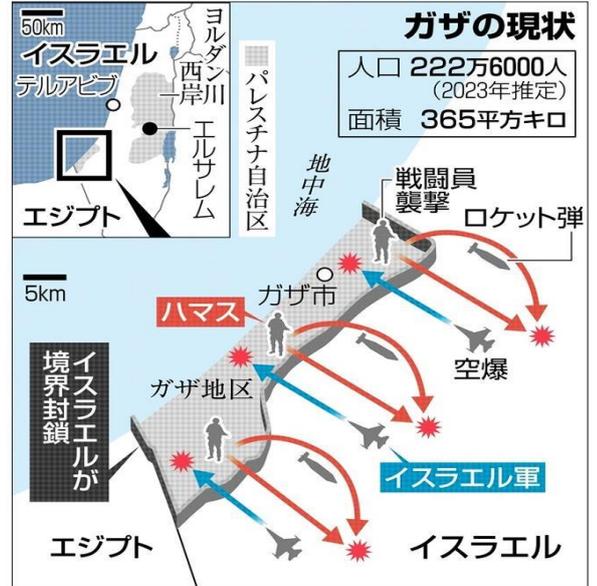
## 死者数は近年で最悪水準

双方の戦闘の死者は11月1日現在で1万人を超え、イスラエル軍によるパレスチナ自治区ガザ地区に対する空爆による死者が8796人、このうちの40%に当たる3648人が子どもだとされています。(ガザ地区の保健当局) 国連は「死者数は近年で最悪水準に達した」と報告しています。

## 非人道的な妨害行為

エジプトとの境界にある検問所を通じた人道支援物質(食料・飲料水、医薬品など)の搬入が始まったとは言え、ガザに入ったのはわずかなトラック台数で、200万人を超える住民の命を支えるには到底足りません。

電力の回復は一刻の猶予もありません。発電機の稼働に必要な燃料は「ハマスに使われる」と主張するイスラエルの反対によって搬入できません。病院を機能停止に追い込み、入院患者や新生児、空爆による負傷者の命を奪うなど、許されな



い非人道的妨害行為です。

## 破滅的な人道危機を即刻止めよ

イスラエルのネタニヤフ首相は「戦闘は第2段階に入った」と宣言し、ハマスの一掃を策するガザ地区への「地上侵攻・越境攻撃」作戦を拡大しています。さらなる空爆の激化、地下トンネルの爆破、生活必需品の供給停止、インターネット、スマホなどの通信遮断もされました。こうした「破滅的な人道危機」は直ちに止めなければなりません。

イスラエルとハマスは暴力の応酬をやめ、停戦に向けた交渉のテーブルに着くべきです。

## 国連総会、ガザ「人道的休戦」決議

10月27日、国連総会は緊急特別会合を開き、パレスチナ自治区ガザ地区に関する「敵対行為の停止につながる即時かつ持続的な人道的休戦を求める」決議案121ヶ国の賛成で採択しました。国際社会には、本決議の「全ての当事者に国際人道法を含む国際法の完全遵守、暴力の 에스カレートを防ぐ最大限の自制」の履行に向けての最大限の努力が求められます。

## 問題の根底に国際法違反の「入植」が

この問題の根底には「窒息させられるような占領」といわれる中東・パレスチナ問題があります。1967年の第3次中東戦争でパレスチナを占領したイスラエルによって、以来半世紀以上にわたってガザ地区は「天井のない牢獄」といわれる高い壁で囲われ、無法な空爆と地区封鎖され、ヨルダン川西岸地区では国際法違反の入植が拡大されてきたことです。



イスラエル「総攻撃に移行する」 報道1930

# “天井のない監獄”の現状は？